



## 2024年2月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2024年4月12日

上場会社名 株式会社BeeX

上場取引所 東

コード番号 4270 URL <https://www.beex-inc.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 広木 太

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務本部長

(氏名) 杉山 裕二

TEL 03-6260-6240

定時株主総会開催予定日 2024年5月29日

有価証券報告書提出予定日 2024年5月30日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期の業績(2023年3月1日～2024年2月29日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期	7,700	33.7	599	48.6	615	50.4	440	47.2
2023年2月期	5,759	32.2	403	46.9	409	57.2	299	56.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年2月期	198.40	175.93	23.6	16.2	7.8
2023年2月期	135.03	120.18	20.5	13.8	7.0

(参考) 持分法投資損益 2024年2月期 百万円 2023年2月期 百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期	4,281	2,089	48.8	940.71
2023年2月期	3,329	1,649	49.5	742.30

(参考) 自己資本 2024年2月期 2,089百万円 2023年2月期 1,649百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年2月期	785	78		1,870
2023年2月期	335	56	136	1,163

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年2月期		0.00		0.00	0.00			
2025年2月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

### 3. 2025年2月期の業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,470	23.0	650	8.5	648	5.3	468	6.2	210.70

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期	2,224,600 株	2023年2月期	2,224,600 株
期末自己株式数	2024年2月期	3,000 株	2023年2月期	3,000 株
期中平均株式数	2024年2月期	2,221,600 株	2023年2月期	2,218,108 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 貸借対照表 .....	6
(2) 損益計算書 .....	8
(3) 株主資本等変動計算書 .....	10
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(持分法損益等) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度(2023年3月1日から2024年2月29日まで)におけるわが国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、インバウンド需要等が回復したことにより景気は上昇傾向にあります。景気の先行きについては、エネルギー価格をはじめとする物価上昇及び世界的な金融の引き締めを背景とした景気後退懸念などにより、依然として不透明な状況が継続しております。

情報サービス産業においては、特に事業の強化やビジネスモデルの変革を推進するDX(デジタルトランスフォーメーション)関連の需要が増加しており、今後も中長期的に市場規模の拡大が継続するものとみられております。

当社を取り巻くクラウド市場においては、Gartnerの調査(世界のIaaSパブリッククラウドサービスの市場シェア2021年-2022年)によると、パブリッククラウドの市場シェアは2022年に29.7%成長し、当社が取扱いをしている「Amazon Web Services」(AWS)、「Microsoft Azure」(Azure)及び「Google Cloud」も成長しております。

また、ERP市場においては、ITRの調査(ITR Market View: ERP市場2023)によると、オンプレミスは、2020年度から2021年度にかけてマイナス成長が続いている一方で、IaaSは成長を維持しており、今後もこの傾向が続くと予測され、ERPのクラウド化が進んでいくものと見ております。

SAPシステムにおいては、2027年にオンプレ環境を含むSAP ERP6.0の保守終了が予定されており、自社のSAPシステムの環境をどのように遷移させていくかというアップグレード・クラウド移行戦略は、継続して重要なポイントとなっております。

このような状況下、当社では「デジタルトランスフォーメーション」及び「マルチクラウド」という2つの領域を軸にクラウドソリューション事業を展開しており、SAP社が提供する基幹システムを中心に、顧客企業毎に使用している基幹システムに最適なパブリッククラウドの選定、基幹システムをパブリッククラウド上で最適な状態で利用するためのコンサルティング、クラウド環境の設計・構築、クラウド環境への移行、及びクラウド環境での運用業務の提供を行ってまいりました。

以上の結果、当事業年度における売上高は7,700,068千円(前期比33.7%増)、営業利益は599,148千円(前期比48.6%増)、経常利益は615,519千円(前期比50.4%増)、当期純利益は440,772千円(前期比47.2%増)となりました。

なお、当社の事業はクラウドソリューション事業の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしておりません。

### (売上高)

当社は、クラウドソリューション事業の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしておりませんが、サービス区分別の売上高は次のとおりであります。

当事業年度における売上高は、クラウドインテグレーション売上高は2,424,006千円(前期比47.1%増)、MSP売上高は765,755千円(前期比16.8%増)、クラウドライセンスリセール売上高は4,510,306千円(前期比30.5%増)となりました。

これは、クラウドインテグレーションにおいては、既存顧客からの追加案件の受注及び大型案件を含む新規顧客の獲得もあってプロジェクト数が順調に積み上がったことによるものであり、MSP及びクラウドライセンスリセールにおいては、新規顧客の獲得もあって取引社数が堅調に推移したことによるものであります。

### サービス区分別売上高

サービス名称	前事業年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)		当事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)		前事業年度比	
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)	差額(千円)	増減率(%)
クラウドインテグレーション	1,647,704	28.6	2,424,006	31.5	776,302	47.1
MSP	655,629	11.4	765,755	9.9	110,126	16.8
クラウドライセンスリセール	3,455,935	60.0	4,510,306	58.6	1,054,371	30.5
合計	5,759,268	100.0	7,700,068	100.0	1,940,799	33.7

## （売上原価）

当事業年度における売上原価は、前事業年度に比べ1,474,649千円増加し、6,182,054千円（前期比31.3%増）となりました。

これは主に、クラウドインテグレーション売上およびMSP売上の増加に伴い業務委託費が534,203千円増加、クラウドライセンスリセール売上が増加したことによりライセンスの仕入高が967,680千円増加したこと等によるものであります。

## （販売費及び一般管理費）

当事業年度における販売費及び一般管理費は、前事業年度に比べ270,091千円増加し、918,865千円（前期比41.6%増）となりました。

これは主に、営業・管理部門の採用が順調に進捗したこと等により給料及び手当が118,768千円増加し、社外の専門家の利用等により業務委託費が31,131千円増加し、採用活動において紹介会社による紹介手数料が増加したこと等もあり採用費が29,955千円増加したこと等によるものであります。

## （営業外損益）

当事業年度における営業外収益は、前事業年度に比べ5,332千円増加し、17,064千円（前期比45.5%増）となりました。

これは主に、受取手数料収入が6,248千円増加したこと等によるものであります。また、営業外費用は、前事業年度に比べ4,841千円減少し、693千円（前期比87.5%減）となりました。これは主に、為替差損が4,583千円減少したこと等によるものであります。

## （特別損益）

当事業年度における特別損失は、22,154千円（前期は262千円）となりました。これは開発中であった次期基幹システム（ソフトウェア仮勘定）を減損処理したこと等によるものであります。

## （2）当期の財政状態の概況

## （資産）

当事業年度末における資産合計は、4,281,754千円となり、前事業年度末から952,329千円の増加となりました。

当事業年度末における流動資産は、3,986,727千円となり、前事業年度末から947,326千円の増加となりました。これは主に、売掛金の回収により現金及び預金が706,891千円、売上の増加により売掛金が22,724千円、契約資産が26,212千円、AWSのリザーブドインスタンス（契約期間1年間、3年間）及びSavings Plans（契約期間1年間）の購入等に伴い前払費用が158,993千円増加したこと等によるものであります。

当事業年度末における固定資産は、295,026千円となり、前事業年度末から5,002千円の増加となりました。これは主に、繰延税金資産が14,146千円増加した一方、自社開発のクラウド運用サービスツール「BSC : BeeX Service Console」の減価償却等により無形固定資産が7,278千円減少したこと等によるものであります。

## （負債）

当事業年度末における負債合計は、2,191,881千円となり、前事業年度末から511,556千円の増加となりました。

当事業年度末における流動負債は、2,191,881千円となり、前事業年度末から511,556千円の増加となりました。これは主にクラウドライセンスリセール売上が増加したことに伴うライセンスの仕入高が増加したこと及びクラウドインテグレーションに係る外注利用による業務委託費が増加したこと等により買掛金が166,642千円及びクラウドライセンスリセール売上に対する契約負債が244,869千円増加したこと並びに未払消費税等が50,982千円増加したこと等によるものであります。

## （純資産）

当事業年度末における純資産は、2,089,872千円となり、前事業年度末から440,772千円の増加となりました。これは、当期純利益の計上による繰越利益剰余金が440,772千円増加したことによるものであります。

### （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ706,891千円増加し、1,870,032千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は785,403千円となりました（前事業年度は335,766千円の獲得）。これは主に、増加要因として、税引前当期純利益の計上593,367千円（前年同期は409,025千円）、AWSのリザーブドインスタンス（契約期間1年間、3年間）及びSavings Plans（契約期間1年間）の契約数が増加したことによる契約負債の増加額244,869千円（前年同期は契約負債の増加額93,736千円）、クラウドライセンスリセールに係る仕入高が増加したことによる仕入債務の増加額165,965千円（前年同期は仕入債務の増加額319,473千円）等があった一方で、減少要因として、クラウドソリューション事業の売上高が増加したことによる売上債権及び契約資産の増加額48,936千円（前年同期は売上債権及び契約資産の増加額481,165千円）、AWSのリザーブドインスタンス（契約期間1年間、3年間）及びSavings Plans（契約期間1年間）の購入等に伴う前払費用の増加額158,209千円（前年同期は前払費用の増加額74,342千円）、法人税等の支払額156,656千円（前年同期は法人税等の支払額37,676千円）等があったことによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は78,512千円となりました（前事業年度は56,724千円の支出）。これは主に従業員の増加に伴うPC等の購入により有形固定資産の取得による支出25,284千円（前年同期は有形固定資産の取得による支出7,872千円）、自社開発のクラウド運用サービスツール「BSC：BeeX Service Console」の追加機能開発等により無形固定資産の取得による支出53,231千円（前年同期は無形固定資産の取得による支出48,851千円）があったこと等によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、ありませんでした（前事業年度は136,605千円の支出）。

### （4）今後の見通し

当社が事業を展開するパブリッククラウド市場は、DX（デジタル・トランスフォーメーション）、データ駆動型ビジネスを進めるためにクラウドを活用したICT基盤の強化が進むことなどによって今後も拡大が予想されております。

このような状況下で、当社はクラウドソリューション事業における「クラウドインテグレーション」、「MSP（マネージドサービスプロバイダ）」及び「クラウドライセンスリセール」の3つのサービスを引き続き推進してまいります。

2025年2月期の業績見通しにつきましては、売上高9,470百万円（前期比23.0%増）、営業利益650百万円（同8.5%増）、経常利益648百万円（同5.3%増）、当期純利益468百万円（同6.2%増）を見込んでおります。

なお、業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の会計基準は当面は、日本基準による財務諸表を作成する方針であります。

IFRS(国際財務報告基準)については、今後の動向を注視したうえで適切に対応する体制の整備に努めてまいります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当事業年度 (2024年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,163,141	1,870,032
売掛金	1,075,784	1,098,508
契約資産	255,429	281,641
前払費用	545,044	704,038
その他	-	32,505
流動資産合計	3,039,400	3,986,727
固定資産		
有形固定資産		
建物	33,792	33,792
減価償却累計額	△6,986	△9,452
建物(純額)	26,805	24,339
工具、器具及び備品	66,370	79,197
減価償却累計額	△40,028	△51,255
工具、器具及び備品(純額)	26,341	27,941
有形固定資産合計	53,147	52,281
無形固定資産		
ソフトウェア	122,398	115,119
無形固定資産合計	122,398	115,119
投資その他の資産		
投資有価証券	11,625	11,625
敷金	74,354	73,354
繰延税金資産	28,499	42,646
投資その他の資産合計	114,478	127,625
固定資産合計	290,024	295,026
資産合計	3,329,424	4,281,754



(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当事業年度 (2024年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	761,104	927,746
短期借入金	200,000	200,000
未払金	116,610	148,101
未払費用	18,490	22,943
未払法人税等	108,474	118,057
未払消費税等	32,283	83,265
契約負債	406,999	651,868
預り金	32,407	39,021
受注損失引当金	3,954	211
その他	-	664
流動負債合計	1,680,324	2,191,881
負債合計	1,680,324	2,191,881
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	321,089	321,089
資本剰余金		
資本準備金	386,213	386,213
資本剰余金合計	386,213	386,213
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	944,435	1,385,208
利益剰余金合計	944,435	1,385,208
自己株式	△2,638	△2,638
株主資本合計	1,649,099	2,089,872
純資産合計	1,649,099	2,089,872
負債純資産合計	3,329,424	4,281,754

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
売上高	5,759,268	7,700,068
売上原価	4,707,404	6,182,054
売上総利益	1,051,864	1,518,014
販売費及び一般管理費		
役員報酬	69,750	78,000
給料及び手当	240,120	358,888
業務委託費	91,419	122,551
減価償却費	13,292	16,799
その他	234,191	342,626
販売費及び一般管理費合計	648,773	918,865
営業利益	403,090	599,148
営業外収益		
受取利息	10	13
消費税差額	1,069	-
受取手数料	10,651	16,900
雑収入	-	150
営業外収益合計	11,731	17,064
営業外費用		
支払利息	703	636
為替差損	4,635	51
固定資産廃棄損	195	4
営業外費用合計	5,534	693
経常利益	409,288	615,519
特別利益		
固定資産売却益	-	2
特別利益合計	-	2
特別損失		
固定資産売却損	262	-
有形固定資産除却損	-	165
減損損失	-	21,988
特別損失合計	262	22,154
税引前当期純利益	409,025	593,367
法人税、住民税及び事業税	123,525	166,741
法人税等調整額	△14,026	△14,146
法人税等合計	109,498	152,594
当期純利益	299,527	440,772

## 売上原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自2022年3月1日 至2023年2月28日)		当事業年度 (自2023年3月1日 至2024年2月29日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 労務費	※1	811,148	47.6	876,017	39.3
II 経費	※2	892,703	52.4	1,351,396	60.7
当期総発生費用		1,703,852	100.0	2,227,414	100.0
当期仕入高	※3	3,043,943		4,011,623	
合計		4,747,795		6,239,037	
他勘定振替高	※4	44,346		53,240	
受注損失引当金繰入額		16,639		1,947	
受注損失引当金戻入		12,684		5,690	
売上原価		4,707,404		6,182,054	

(注) ※1 労務費の主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自2022年3月1日 至2023年2月28日)	当事業年度 (自2023年3月1日 至2024年2月29日)
給与及び手当 (千円)	649,434	694,982
法定福利費 (千円)	100,802	110,894
賞与 (千円)	30,811	38,829

※2 経費の主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自2022年3月1日 至2023年2月28日)	当事業年度 (自2023年3月1日 至2024年2月29日)
業務委託費 (千円)	771,808	1,306,011
地代家賃 (千円)	60,736	56,580
減価償却費 (千円)	32,558	39,758

※3 仕入高の主な内訳は、Amazon Web Service, Inc.に対するAWS、Microsoft Corporationに対するAzure及び各種ソフトウェア・サービスの仕入に伴うライセンス使用料であります。

※4 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自2022年3月1日 至2023年2月28日)	当事業年度 (自2023年3月1日 至2024年2月29日)
ソフトウェア仮勘定 (千円)	44,346	53,240

(原価計算の方法)

原価計算の方法は、個別原価計算による実際原価計算であります。

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自2022年3月1日 至2023年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本準備 金	資本剰余 金合計	その他利 益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余 金合計			
当期首残高	286,350	351,474	351,474	638,037	638,037	△2,638	1,273,222	1,273,222
会計方針の変更による 累積的影響額				6,871	6,871		6,871	6,871
会計方針の変更を反映し た当期首残高	286,350	351,474	351,474	644,908	644,908	△2,638	1,280,094	1,280,094
当期変動額								
新株の発行	34,739	34,739	34,739				69,478	69,478
当期純利益				299,527	299,527		299,527	299,527
当期変動額合計	34,739	34,739	34,739	299,527	299,527	-	369,005	369,005
当期末残高	321,089	386,213	386,213	944,435	944,435	△2,638	1,649,099	1,649,099

当事業年度 (自2023年3月1日 至2024年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本準備 金	資本剰余 金合計	その他利 益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余 金合計			
当期首残高	321,089	386,213	386,213	944,435	944,435	△2,638	1,649,099	1,649,099
会計方針の変更による 累積的影響額								-
会計方針の変更を反映し た当期首残高	321,089	386,213	386,213	944,435	944,435	△2,638	1,649,099	1,649,099
当期変動額								
新株の発行								-
当期純利益				440,772	440,772		440,772	440,772
当期変動額合計	-	-	-	440,772	440,772	-	440,772	440,772
当期末残高	321,089	386,213	386,213	1,385,208	1,385,208	△2,638	2,089,872	2,089,872

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	409,025	593,367
減価償却費	45,851	56,557
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	3,954	△3,743
減損損失	-	21,988
固定資産売却損益 (△は益)	262	△2
固定資産除却損	-	165
受取利息	△10	△13
支払利息	703	636
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△481,165	△48,936
前払費用の増減額 (△は増加)	△74,342	△158,209
仕入債務の増減額 (△は減少)	319,473	165,965
未払金の増減額 (△は減少)	36,459	39,332
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△9,177	50,982
契約負債の増減額 (△は減少)	93,736	244,869
その他	29,380	△20,275
小計	374,151	942,685
利息及び配当金の受取額	9	11
利息の支払額	△717	△636
法人税等の支払額	△37,676	△156,656
営業活動によるキャッシュ・フロー	335,766	785,403
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△7,872	△25,284
無形固定資産の取得による支出	△48,851	△53,231
固定資産の売却による収入	-	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56,724	△78,512
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200,000	-
株式の発行による収入	69,478	-
上場関連費用の支出	△6,083	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△136,605	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	142,437	706,891
現金及び現金同等物の期首残高	1,020,703	1,163,141
現金及び現金同等物の期末残高	1,163,141	1,870,032

## （5）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（持分法損益等）

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社は、クラウドソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## （1株当たり情報）

	前事業年度 (自2022年3月1日 至2023年2月28日)	当事業年度 (自2023年3月1日 至2024年2月29日)
1株当たり純資産額	742.30円	940.71円
1株当たり当期純利益	135.03円	198.40円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	120.18円	175.93円

（注）1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自2022年3月1日 至2023年2月28日)	当事業年度 (自2023年3月1日 至2024年2月29日)
当期純利益（千円）	299,527	440,772
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益（千円）	299,527	440,772
普通株式の期中平均株式数（株）	2,218,108	2,221,600
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額（千円）	—	—
普通株式増加数（株）	274,142	283,807
（うち新株予約権）（株）	274,142	283,807
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

（重要な後発事象）

該当事項はありません。